Ninf-Gを用いたグリッド上の 最適化問題計算

合田 憲人(東京工業大学) 藤沢 克樹(東京電機大) 小野 功(東京工業大学) 松岡 聡(東京工業大学)



最適化問題と グリッドコンピューティング

最適化問題

与えられた制約条件Sのもとで目的関数f(x)を最小(最大)にする解を求める.

minimize/maximize $f(x_1, x_2,..., x_n)$ subject to $(x_1, x_2,..., x_n) \in S$

S: 実行可能解

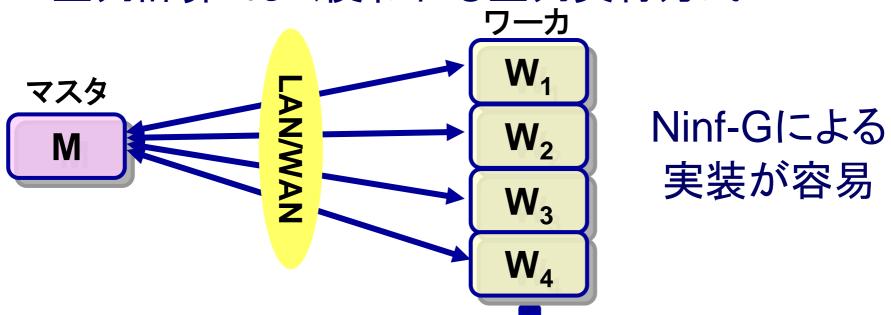
様々な工学分野(OR, 制御, 情報, ...)で用いられる.

グリッドコンピューティングによる 最適化問題計算

- ■最適化問題計算
 - ■大規模問題の計算には莫大な計算パワーが必要 ▶計算が諦められる場合も多い.
 - ■多くの問題に見られる特徴
 - ▶全体の計算は依存関係の無い(少ない)大量のタスクから構成される。
- ■グリッドコンピューティングへの期待
 - ■異なるタスクを並列に実行可能.
 - ■グリッド上の大量の計算機を用いることにより大幅 な計算時間短縮が期待される.

マスタ・ワーカ方式

- ■1台のマスタプロセス(マスタ計算機)が複数のワーカプロセス(ワーカ計算機)を統括.
 - ■タスクのアイドルワーカへの割り当て
 - ■計算結果回収
- ■並列計算でよく使われる並列実行方式

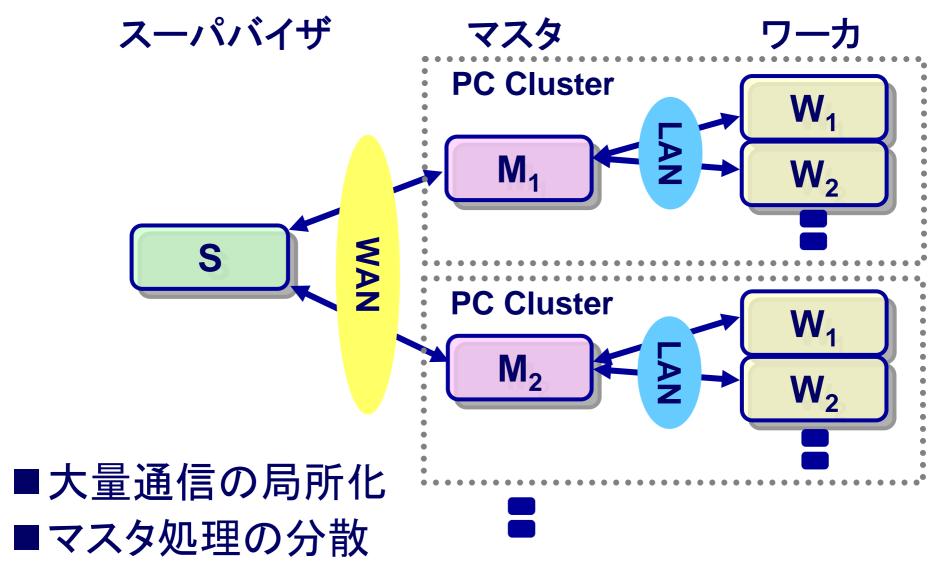


Kento Aida, Tokyo Institute of Technology

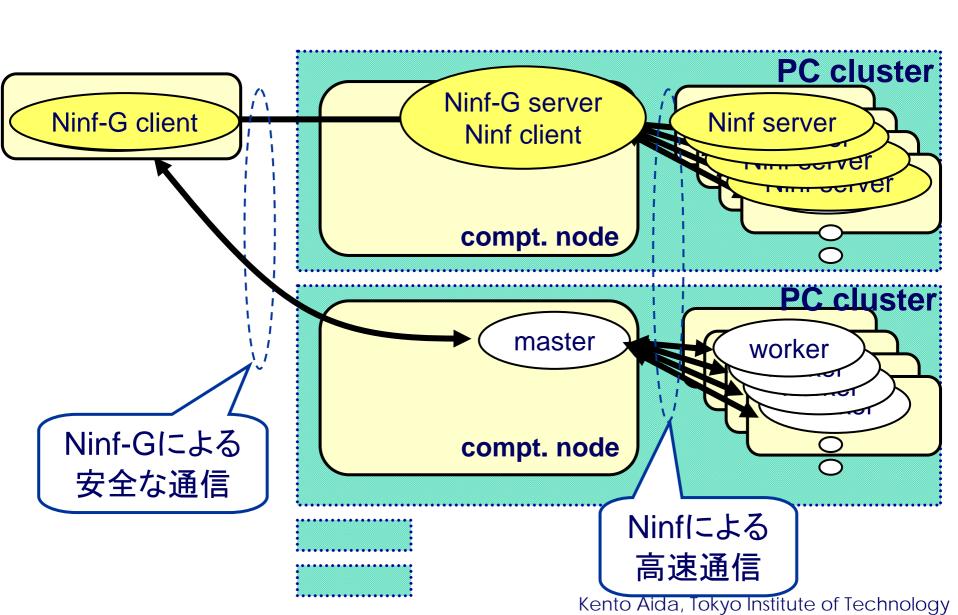
グリッド上でのマスタ・ワーカ方式の問題

- ■通信オーバーヘッドの増大
 - ■グリッドを構成するネットワークはWANである.
 - ➤WAN上の遅延, スループット低下
 - ■グリッド上の計算資源の多くはファイアウォールにより守られている.
 - ▶ファイアウォール通過処理に伴うオーバーヘッド
- ■単一マスタによる性能ボトルネック
 - ■1台のマスタが統括できるワーカ数には限界がある.

階層的マスタ・ワーカ方式



GridRPCによる実装



事例

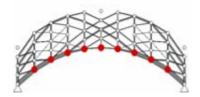
- 1. 遺伝アルゴリズムによるNMR蛋白質立体構造決定(小野@東工大)
- 2. サプライ・チェイン最適化システム(藤澤@東京電機大)
- 3. 並列分枝限定法(合田@東工大)

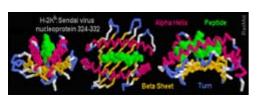
ACT-JST Testbed

- ■大規模最適化問題計算を主目的と したグリッド実験環境
 - ■1000CPU規模の実験環境構築
 - ■アプリケーション開発
 - ■グリッド研究者と最適化問題研究者 の協調











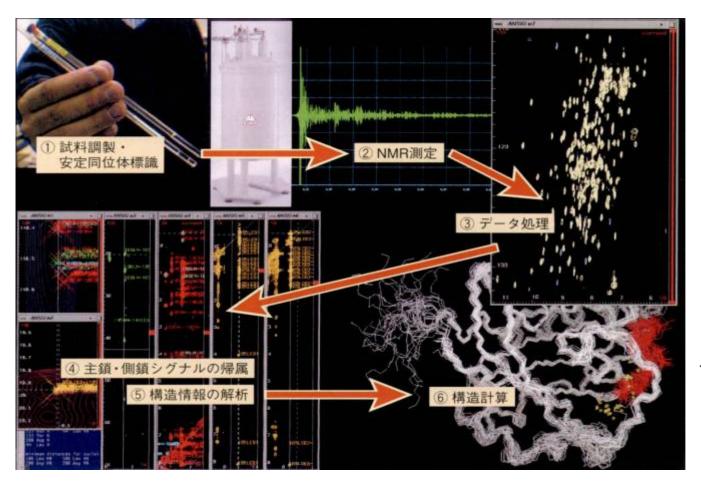




TITECH

Tokushima U.

事例1: 遺伝アルゴリズムによるNMR蛋白質立体構造決定



専門家でも,「構造情報の解析」に数ヶ月以上の試行錯誤を要する!

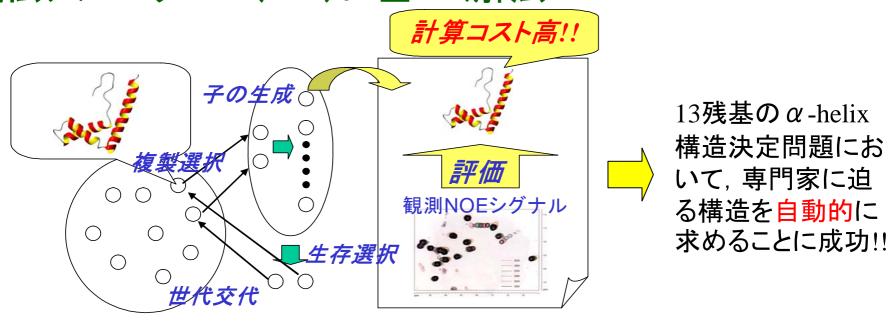


自動化 高速化 が望まれる

[source: Isao Ono, TITECH]

NMR蛋白質立体構造決定のための遺伝アルゴリズム [Ono 02]

遺伝アルゴリズム(GA)に基づく解法



大規模立体構造決定での問題点

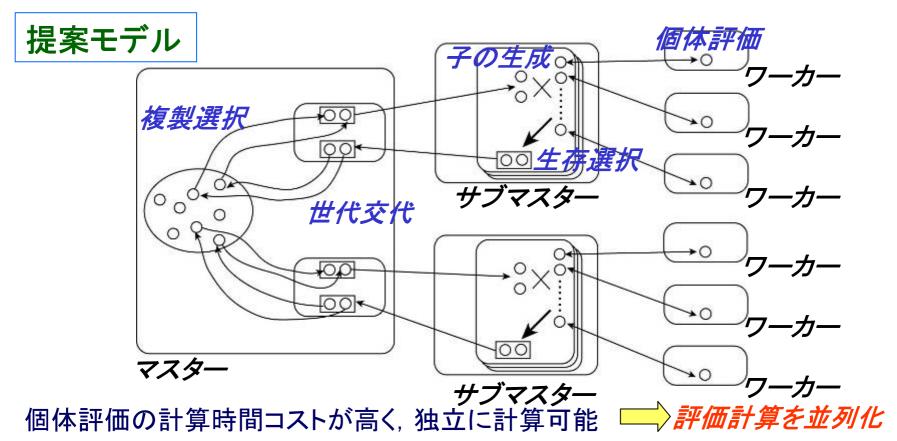
78 残基立体構造決定では、Pentium III 1.4GHz/1CPUで約200日かかる

現実的な時間での計算完了には、数百~1000CPU程度での並列計算が必要

[source: Isao Ono, TITECH]

Kento Aida, Tokyo Institute of Technology

NMR蛋白質立体構造決定のためのグリッド 向けGAシステムの提案



1,000CPU程度のスケーラビリティに対応

・ 世代交代ループを複数同時に実行

一>並列度向上

- マスターの機能をマスターと複数のサブマスターに分散

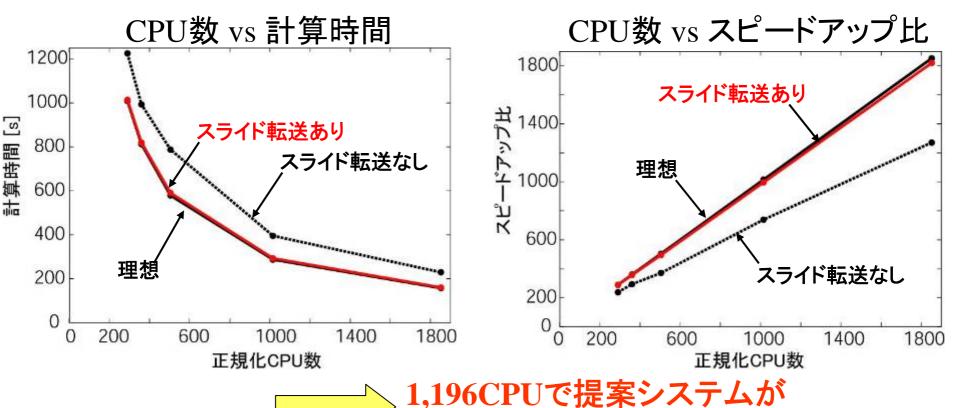
➡〉 負荷分散

[source: Isao Ono, TITECH]

実験

試行回数:独立3試行の平均 打ち切り世代数:500 生成子個体数/1世代: 200

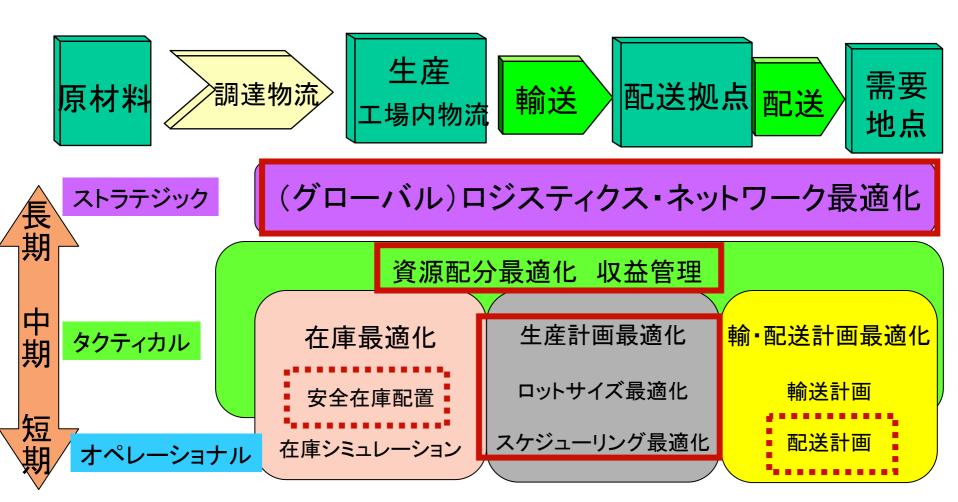
集団サイズ: 500 世代交代スレッド数: 10, 14, 16, 36, 50/サイト数で増加正規化CPU数: Pentium III 1.4GHz/1CPUの平均評価性能を1.0として正規化



[source: Isao Ono, TITECH]

理想に近いリニアなスケーラビリティ!!
Kento Aida, Tokyo Institute of Technology

事例2: サプライ・チェイン最適化



[source: Katsuki Fujisawa, TDU]

Kento Aida, Tokyo Institute of Technology

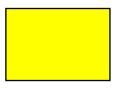
ロットサイズ最適化:1品目の例題

期(日, 週, 月, 時間): 1, 2, 3, 4, 5(5日分)





段取り



生産

段取り費用:3万円

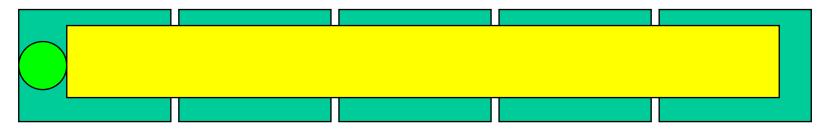
需要量: 5,7,3,6,4(日あたりの必要量;トン)

在庫費用:1日あたり1万円

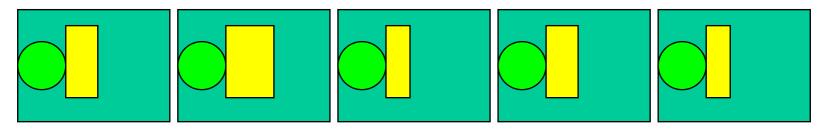
生産費用 : 1,1,3,3,3(1トンあたり)

ロットサイズ最適化:1品目の例題(続)

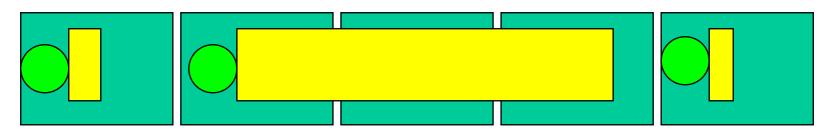
一度に生産: 段取り(3)+生産(25)+在庫(20+13+10+4)=75



JIT生産: 段取り(15)+生産(51)+在庫(0)=66



最適生産:段取り(9)+生産(33)+在庫(15)=57



[source: Katsuki Fujisawa, TDU]

1. 在庫方策最適化: WebInv www.logopt.com/WEBAppli.htm

- 2. 安全在庫配置: WebSCM
- 3. ロジスティックネットワーク 最

適化: WebDesign

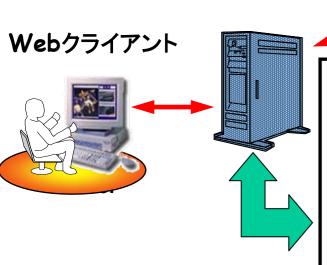
- 4. ロットサイズ最適化: WebLot
- 5. スケジューリング最適化: WebSeq
- 6. 配送計画最適化: WebMETRO
- 7. 需要予測システム: WebForecast
- 8. 収益管理最適化: WebRM





NinfG-server





Windows 2003 Server

- IIS+ASP.NET
- MySQL
- Cog+Apache Ant
- Java SDK
- NinfG-client

事例3:

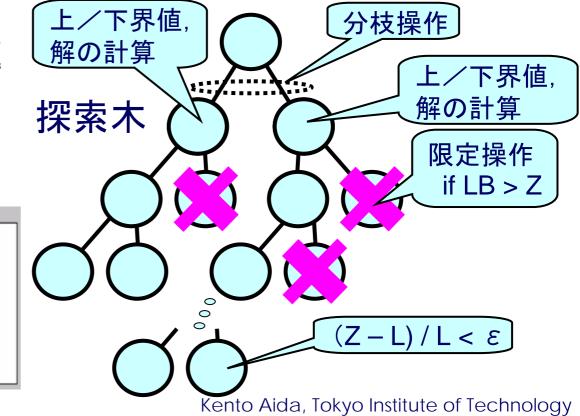
分枝限定法

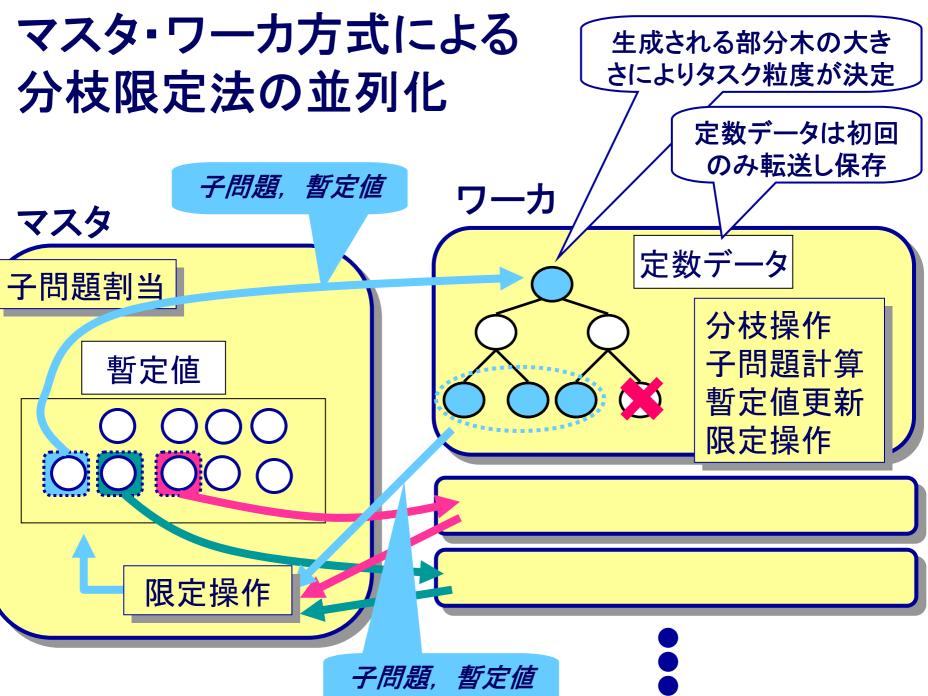
- ■最適解の探索
 - ■問題を複数の小規模な問題(子問題)に再帰的に分割して、各子問題について解の計算を行う.
 - ■最適解の存在しない子問題(例:下界>暫定値)は

探索木から削除.

best upper bound & minimun lower bound

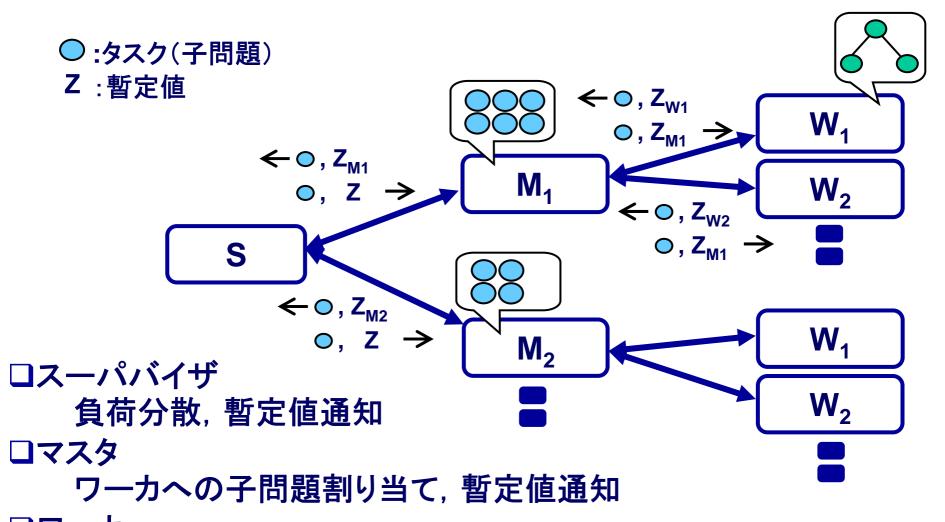
▶暫定値=子問題間の最小上界値(最小化問題の場合)





Kento Aida, Tokyo Institute of Technology

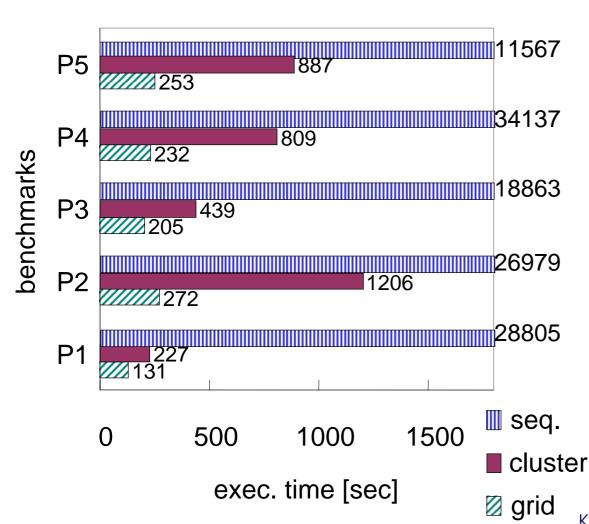
階層的マスタ・ワーカ方式を用いた 並列分枝限定法



□ワーカ子問題計算

グリッド上でのアプリケーション実行時間

BMI固有值問題



P1-P5: n_x=6, n_y=6, m=24, タスク実行時間 = 0.5sec程度

seq: Blade (1CPU) cluster: Blade (73CPUs) grid: 4sites (412CPUs)

■ 例:P2

逐次計算:9.5h

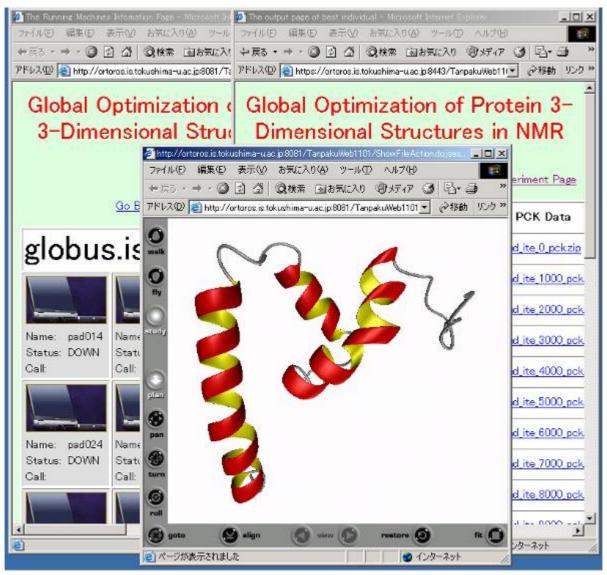
グリッド計算:4.5min

■ 細粒度アプリに対する階層的マスタ・ワーカ方式の有効性を確認.

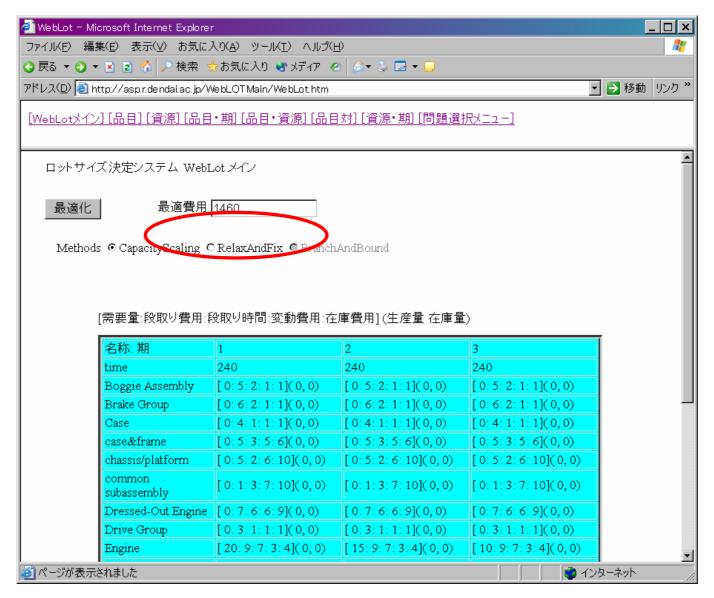
Kento Aida, Tokyo Institute of Technology

ポータル

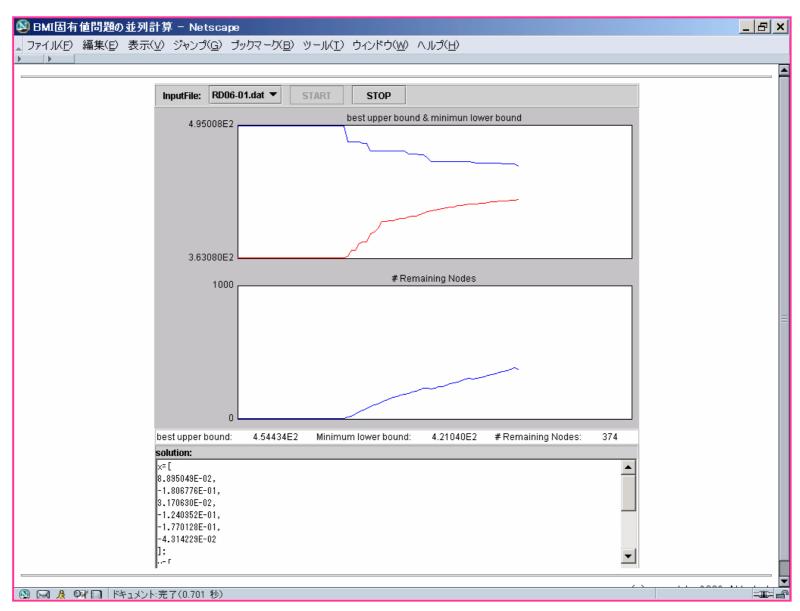
遺伝アルゴリズムによる NMR蛋白質立体構造決定



ロッドサイズ決定問題

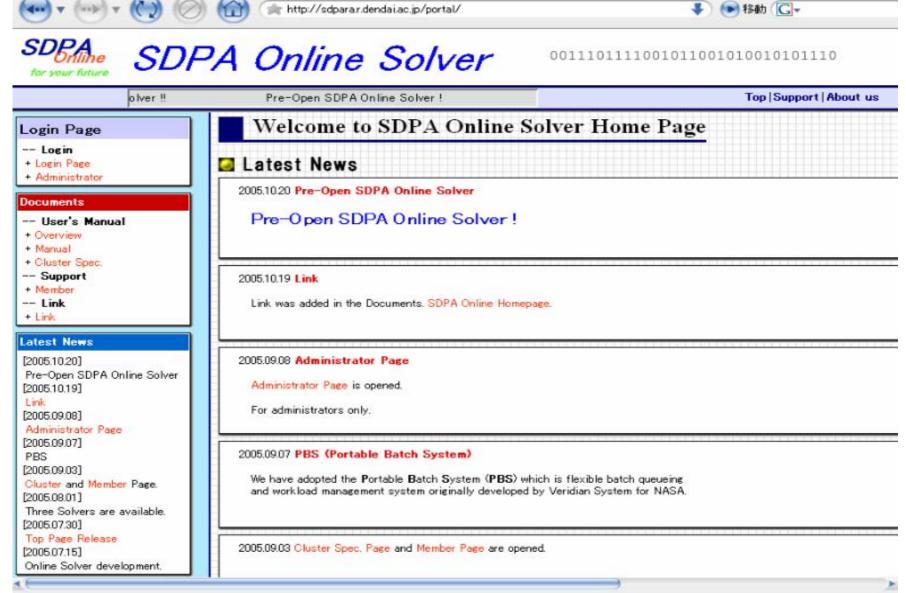


BMI固有值問題



Kento Aida, Tokyo Institute of Technology

SDPA



[source: Katsuki Fujisawa, TDU]

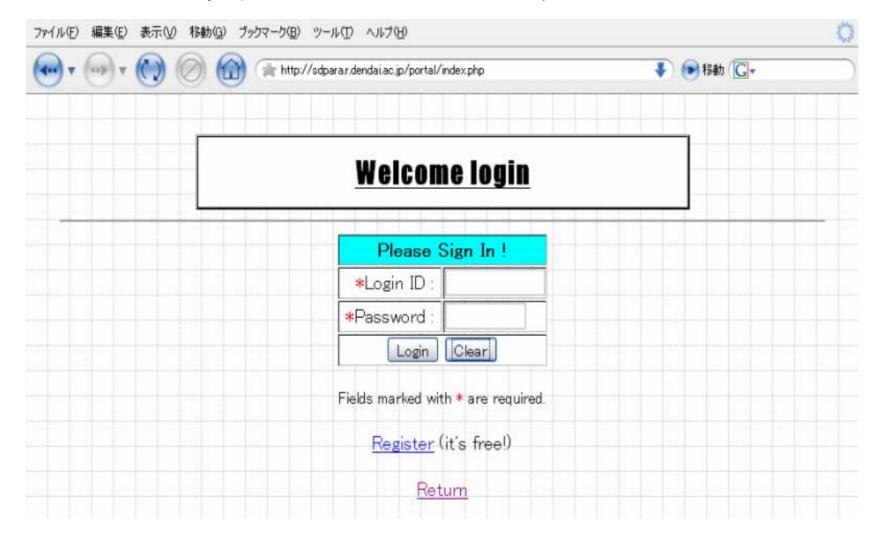
Kento Aida, Tokyo Institute of Technology

SDP (SemiDefinite Programming)

- 半正定値計画問題(最適化問題)
 SDP (SemiDefinite Programming)
 - □オペレーションズリサーチやシステムと制御,金融工学, 量子化学等幅広い分野への応用
- SDPを解く為のソフトウェア
 - SDPA, SDPARA, etc...
- ■[SDPARA : SemiDefinite Programming Algorithm paRAllel version],

Makoto Yamashita, Katsuki Fujisawa, and Masakazu Kojima, Parallel Computing 29, 1053-1067, 2003.

Webアプリケーションへのログイン



SDPA Online Solver Main Page

SDPA Online Solver

User's Manual Page	Your Download Page	Parameter file delete	Data file delete	
UserName:		osada		
Upload Parameter File :		参照 upload		
Upload Data File :		参照 upload		
Select Parameter File :		param.sdpa		
Select Data File :		Data file Select		
Select Solver:		SDPA		
Select Cluster:		Opteron Cluster		
Select CPU Number :		1		
Optional (Default filename result.out) Input result filename :				
Optional (If you need to be notified that the computation finished) E-mail address:				

Mailによる結果通知と情報

Dear osada

```
Thank you for using SDPA Online Solver!
                                                   [source: Katsuki Fujisawa, TDU]
*-*-*-*-*-*-User Information-*-*-*-*-*
  Result : result.out
Parameter : param.sdpa
    Data : mcp.dat-s
  Solver: SDPARA
     CPU: 4
Please download or view result files from our Web site at:
<<<---->>>
http://sdpara.r.dendai.ac.jp/userpage/[your LOGIN
ID]/downloads/download.php
If you have any question, please contact with <u>support@rnc.r.dendai.ac.jp</u>"
Sincerely,
SDPA Online Solver Support
Tokvo Denki University
Departments of mathematical Sciences,
Ishizaka, Hatoyama, Hiki, Saitama
₹355-0394, Japan
E-Mail: support@rnc.r.dendai.ac.jp
  Fax: +81-492-96-7072
```

te of Technology

結果

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 移動(G) ブックマーク(B) ツール(T) ヘルプ(H)

All file (Download)				
File name	Parameter	Data	Last update	Size(KByte)
result.out	param.sdpa	mcp.dat-s	December 12 2005 16:04:22.	4. 322

Click the file name to download/view the results.

If the result file does not appear here, please "reload" this page after your computation is completed (or receiving the e-mail notification).

If you want to remove unnecessary files, please click. [Remove]

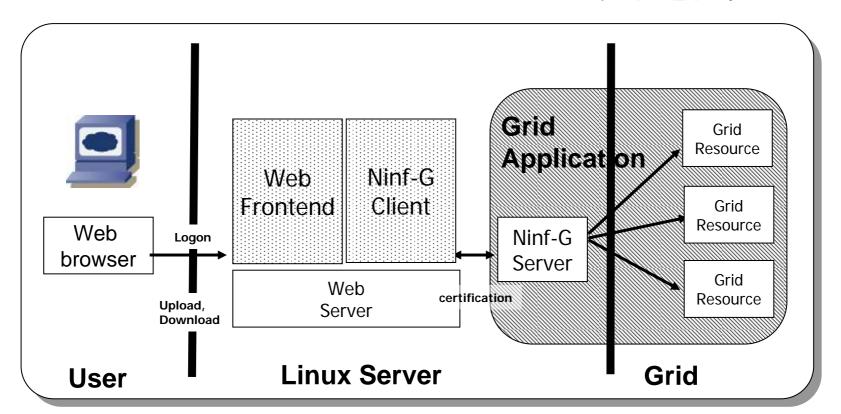
December 12, 2005, 4:04 pm now File = 1 Total file size=0, 004322MB

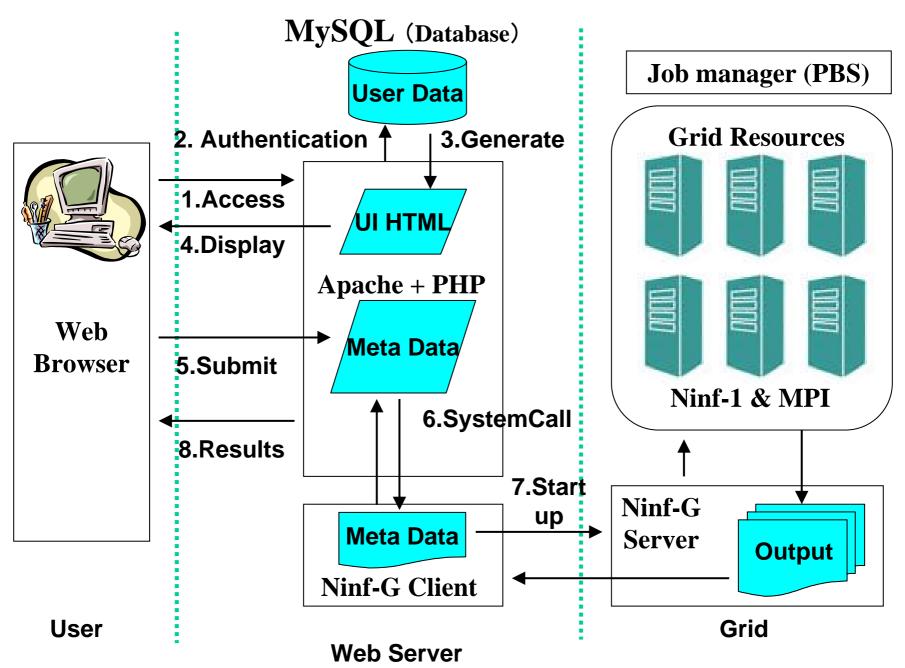
Online Solver Main Page Return

logout

Webアプリケーションの概念図

- ▶3層C/Sシステム
- ▶簡単にグリッドコンピューティングを実現
- ▶ブラウザからログインして自分のジョブの実行を依頼





おわりに

- ■グリッド技術の最適化問題計算への応用に対する期待は大きい.
 - ■生命科学, OR, 制御工学, ...
- ■さらなる発展/普及に向けて、分野間の連携が 重要.
 - ■アプリケーション分野
 - ■コンピュータサイエンス分野
 - ■ネットワーク分野



最適化問題求解アプリケーションの並列化

- ■アプリケーションの特徴
 - ■実行時間の比較的小さいタスクが大量に生成される.
 - ■タスク間の依存関係は(ほとんど)無い.
 - ■生成されるタスクを計算資源へ次々に割り当てて計算を進めたい.

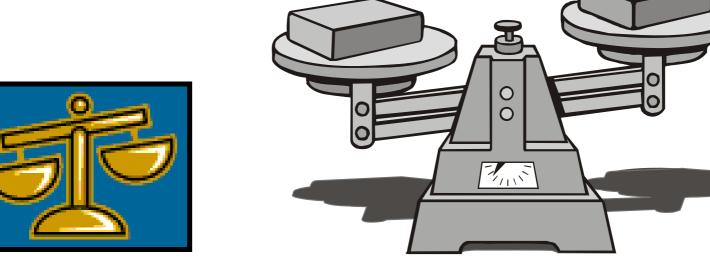
多くの最適化問題求解アプリケーションがマスタ・ワーカ方式により実装されている.

ロットサイズ最適化システム WebLot

- タクティカルレベルの意思決定
- 在庫と段取り費用のトレードオフ(最適ロットサイズの決定)
- 容量制約を考慮した生産資源への品目の割り当ての最適化

段取り費用

■ スケジューリング最適化と合わせることによるAPS (Advanced Planning and Scheduling)の求解



[source: Katsuki Fujisawa, TDU]

Kento Aida, Tokyo Institute of Technology

在庫費用

実験(続)

耐障害性の検証

以下のエラー状況を人為的に発生させた

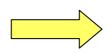
- マスター⇔ゲートウェイ,ゲートウェイ⇔サブマスター, サブマスター⇔ワーカーの通信路が物理的に切断
- マスター⇔ゲートウェイ,ゲートウェイ⇔サブマスター, サブマスター⇔ワーカーのコネクションが切断
- ・ゲートウェイ, サブマスター, ワーカーのプログラムが異常終了

ンステム全体の処理は止まらずに 正常に計算を続けることを確認

実運用を想定した運用試験

約2時間40分で正常に終了

(Pentium III 1.4GHz/1CPUで約200日かかる)



実際の規模の問題を現実的な時間内に計算を完了!!

[source: Isao Ono, TITECH] 時間内に計算を元 [! ! ! ! Kento Aida, Tokyo Institute of Technology

BMI固有值問題

■定義

双線形行列関数 F(x,y) の最大固有値を最小化するベクトル変数 x,y を求める問題.

$$F(x,y) := F_{00} + \sum_{i=1}^{n_x} x_i F_{i0} + \sum_{j=1}^{n_y} y_j F_{0j} + \sum_{i=1}^{n_x} x_i y_j F_{ij}$$
 $F: R^{n_x} \times R^{n_y} \to R^{m \times m}$
 $F_{ij} = F_{ij}^T \in R^{m \times m} \ (i=0,...,n_x, j=0,...,n_y)$

■応用

■制御工学

▶ヘリコプター制御、ロボットアーム制御





- ■OR
 - >大規模問題求解への挑戦